

## 高田の音楽ノート 高田博厚展2024ミニコンサート



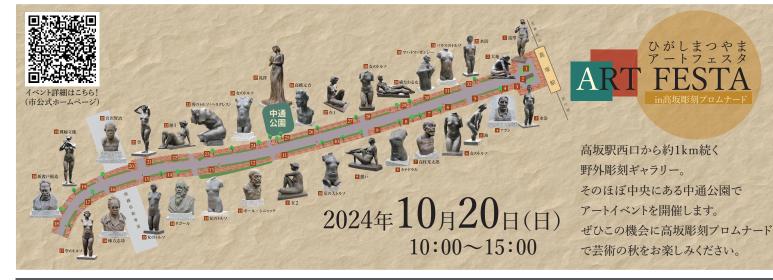


- 演:榎本郁(ヴァイオリン) 松本聖菜(ヴァイオリン) 角田峻史(ヴィオラ) 石井沙和子(チェロ)
- 時:11月9日(土)15:00~16:15
- 所:総合会館4階多目的ホール
- 象:どなたでも(市内外問わず)
- ■定 員:100人(申込順)
- ■参加費:無料
- ■申 込:電話(0493-21-1431)又は電子申請
- ■申込期間:10月4日(金)~10月25日(金)

※託児のお申込みは生涯学習課文化芸術推進室 (0493-21-1431)まで



東武東上線東松山駅から徒歩10分 駐車場は東松山市役所西側駐車場 または立体駐車場をご利用ください ※10/29~11/5は駐車できません



## 博厚 高田 彫刻家 1900-1987

石川県生まれ。日本を代表する彫刻家・思想家・随筆家。18歳で上京し、彫刻家で詩人の高村光太郎と親交を深め、21歳の時に高村か ら借り受けた彫刻台で彫刻制作を始める。30歳で渡仏し、文豪ロマン・ロランや哲学者アランなどヨーロッパの知識人と交流しながら活動し、第二次世界大戦中もフランスに留まる。57歳で帰国した後も精力的に創作活動を続け、86歳でその生涯を閉じた。

## 高田博厚と高坂彫刻プロムナード

高村光太郎と親交のあった元東松山市教育長の田口弘が、1965年に高村光太郎を偲ぶ連翹忌で 同刊元人即と祝父のあった元果松田市教育長の田口弘が、1965年に高村光太郎を偲ぶ連翹忌で高田博厚に会う。その後、東松山市で彫刻展や講演会を開催するなど親交を深めるようになった。その頃東松山市では、高坂駅西口土地区画整理事業を実施しており、事業の完了に際し、田口が「一人の一流作家の作品で飾る彫刻通りが実現できれば、全国に誇れる彫刻通りになる」と提言し、高田はそれに応じた。1986年に2体、1987年に14体、1989年に11体、そして1994年に5体を設置し現在の高坂彫刻プロムナードの形になった。

